



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

北海道予選 桂GC (北海道)

予選大会結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 北海道予選>

- ◇2015年4月19日(日) 天候:晴れ
- ◇北海道・桂GC (15-17歳男子6873ヤード、パー72ほかカテゴリー別)
- ◇出場57人

<北海道予選 概況>

強風が吹く悪コンディションとなった。15-17歳の部男子では、米国留学を決めている国枝太一(未就学/海外留学が決まっているため、現在所属校なし)が、12オーバー84をたたいたものの、他の選手も伸びず、昨年13-14歳の部に続く2年連続1位で決勝大会(5月5~7日、岐阜・花の木GC)に進出した。同女子では櫻田優(北海道・藤女子高2年)と伊藤真利奈(北海道・札幌光星高2年)が11オーバー83で並んだが、カウントバックで櫻田が決勝大会切符を手にした。13-14歳の部男子は鳥海颯汰(北海道・音更中3年)が、上のカテゴリーと同じティーから7オーバー79で回り、トップ通過を果たした。同女子は柏原瑞季(北海道・東川中2年)が5オーバー77をマークして1位となった。

<北海道予選 予選結果>

決勝大会進出者は以下の通り。*敬称略

▽15-17歳男子

- 【1位】国枝太一(未就学) = 84
- 【2位】高木純太(未就学) = 87

▽同女子

- 【1位】櫻田 優(北海道・藤女子高2年) = 83

▽13-14歳男子

- 【1位】鳥海颯汰(北海道・音更中3年) = 79
- 【2位】朴 相大(北海道・札幌日大中2年) = 86

▽同女子

- 【1位】柏原瑞季(北海道・東川中2年) = 77
- 【2位】島田紗(北海道・大麻中2年) = 83

▽11-12歳男子

- 【1位】小村隼人(北海道・平岸小6年) = 82
- 【2位】平井大輝(北海道・中央小6年) = 82

▽同女子

【1位】島田ゆら（北海道・大麻小5年）＝82

【2位】福 晏蘭（北海道・余市東中1年）＝86

▽9－10歳男子

【1位】島田温太（北海道・大麻西小5年）＝86

▽同女子

【1位】田中心結（北海道・東五条小4年）＝87

▽7－8歳男子

【1位】西山陽斗（北海道・開西小2年）＝85

<北海道予選 ハイライト1>

◇15－17歳の部男子 ◇北海道・桂GC（6873ヤード、パー72）

国枝太一（未就学／海外留学が決まっているため、現在所属校なし）が、2年連続予選1位で決勝大会に進んだ。強風の中「こんなスコアで恥ずかしい。今年一番ひどかった」と苦笑いした。4番では林の中に入れてロストボールにするなど8をたたいた。「風の問題じゃないと思います。自分の思うようなゴルフができなかった。気持ちは前向きだったと思うんですけど」と、首をひねった。中学を卒業し、9月から米国のIMGゴルフアカデミーに入学を決めている。世界ジュニアは今年からIMGアカデミーの冠大会になった。「今回、少しでもアピールしたかった。こんなスコアでなんですけど、決勝大会では3人が代表になれるのでチャンスだと思ってやりたい。世界ジュニアに行って、今日とは違う自分を見せたい」と、世界舞台でのアピールを狙う。

<北海道予選 ハイライト2>

◇13－14歳の部男子 ◇北海道・桂GC（6873ヤード、パー72）

上のカテゴリーと同じティーから、鳥海颯汰（北海道・音更中3年）が15－17歳の部を上回る79で回り、2年連続決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）進出を決めた。「今回、新しいパターを持ってきたんですけど、それに助けられました。最近ドライバーの飛距離が伸びたのでセカンドの距離感が合わなくて、パターに救われた」と振り返った。昨年は13－14歳の部で国枝太一に次ぐ2位で決勝大会へ進んだ。今年は同じカテゴリーなので「チャンスがあると思う」と力を込める。身長が昨年より15センチ以上伸びて168センチ近くある。部活動では陸上部に入っており、体が大きくなったことと陸上のトレーニングで飛距離が伸びた。「決勝大会までに、特にショートアイアンをしっかりコントロールできるようにしたい」と、意気込んでいた。

<北海道予選 ハイライト3>

◇13－14歳の部女子 ◇北海道・桂GC（6193ヤード、パー72）

柏原瑞季（北海道・東川中2年）が、強風の中を5オーバー77の好スコアで決勝大会（5月5～7日、岐阜・花の木GC）に進んだ。「ショットが曲がってひどかった。ぎりぎりグリーンに収まっていた感じ」と、本人はもちろん納得していないが、インスタートの16番で2メートル、折り返して4番では残り165ヤードをユーティリティーで30センチにつけ、2度のチャンスをバーディーにした。自分では「ショットが好きで、ピンに刺して行ってバーディーをたくさん取ろうと思っています。特に9番アイアンは小さい頃からずっと練習しているので自信がある」と、攻撃的なゴルフを目指している。ゴルフは幼稚園の頃から初めて「ドライバーで100ヤード打ったらおもちゃを買ってくれるというので1000球ぐらい打って超えた。幼稚園の卒業文集に将来はプロゴルファーになりたいって書いてほしいんです」という。決勝大会に向けて「アイアンの精度を修正して、世界に行きたい」と意欲をみせた。



写真： 左／国枝太一（15－17歳の部男子）、中央／鳥海颯汰（13－14歳の部男子）、

右／柏原瑞季（13—14歳の部女子） 写真クレジット：© I J G A 2 0 1 5